

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成30年1月22日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

「商業動態統計」を見ると、身近な「復興需要」の動きが分かる！？ ～ “お堅い名前の統計書”には、身近なデータがいっぱい載ってます～

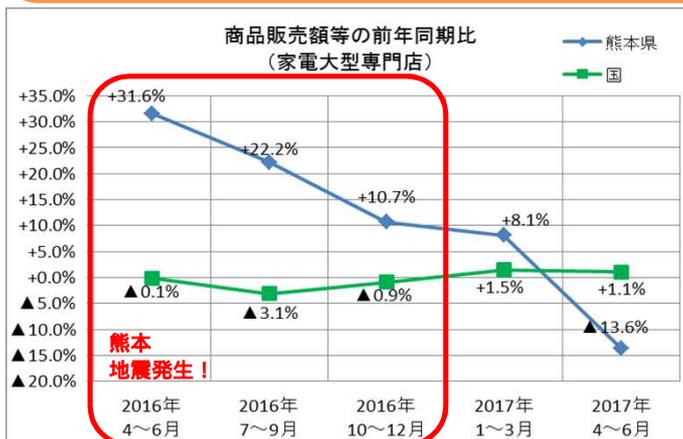


【はじめに】

今回は、「商業動態統計(H29.6月分)」（経済産業省）という“お堅い名前の統計書”を使って、主に、国と県の伸び率（前年同期比）の差を見ることで、「平成28年熊本地震」から約1年間の本県の「生活関連の復興需要」の動きについて見ていきたいと思ひます。

ここで言う「生活関連の復興需要」とは、壊れた家屋等の応急修理（ひび割れ補修、ブルーシート張り等）を自力で行ったりするための物品・資材等の購入、各種防災グッズの追加購入、壊れた家電や生活用品の買替など、復興の中でも特に生活に身近な比較的小規模の需要と考えて話を進めていくことにします。

「商業動態統計」には、「家電大型専門店」や「ホームセンター」等の毎月の売上データ等が載っています。



【家電大型専門店】

「2016年10～12月期」まで、約10～30ポイント以上、国より高い伸びとなっています。

これは、やはり、地震で使えなくなった「家電の買い替え需要」によるものと考えられるのではないのでしょうか。地震直後のゴミ置場には、壊れたステレオ、冷蔵庫、掃除機等の家電製品がずらりと並んでいたことが思い出されます。

なお、「2017年4～6月期」は、「平成28年熊本地震」のときの反動で国と逆転しているようですが、全体的な推移を見ると、その差は縮小傾向にあります。



【ホームセンター】

「2017年1～3月期」まで、約10～20ポイント以上、国より高い伸びが続いていました。

これは、地震で被災した建物の「応急修理・防災対策関連の需要」や「生活用品の買替需要」によるものではないのでしょうか。

応急修理用の資材関係については業者の需要も大きいと考えられますが、地震直後の時期は自力での応急修理（筆者もそうでした）や壊れた食器など生活用品の買替え、その後は頻発する余震に対する備えなど、被災した個人の需要もたいへん大きかったのではないかと思います。

なお、「2017年4～6月期」は、「平成28年熊本地震」のときの反動で国と逆転しているようですが、全体的な推移を見ると、その差は縮小傾向にあります。



【コンビニエンスストア】

データの掲載がないため、熊本地震の起こった「2016年4~6月」の状況は残念ながら不明ですが、「2016年10~12月期」までは、10ポイント以上、国より高い伸びとなっていることが分かります。これは、**県外からの地震復興従事者(主に、土木・建築系)の増加も一因**として考えられるでしょう。コンビニで弁当や飲み物を購入されている姿を見かけることも多かったのではないかと思います。なお、「2017年4~6月期」にはその差も0.7ポイントとなるなど、縮小傾向が続いています。

【百貨店・スーパー】

目を引くのは、「2016年4~6月期」と「2017年4~6月期」です。**前者は、熊本地震直後に一時休業や縮小営業を余儀なくされた店舗が多かったこと**、後者は、その反動ではないでしょうか。「2016年4~6月期」には国より約20ポイント低かったものの、次の「2016年7~9月期」には約2ポイントのプラスへと、**短期間に業況が大きく好転**していることも特徴的です。これは、これまでに見てきた他の分野と同様、**店舗側が早期完全再開に向けて大変な努力をされ、消費者側の大きな期待に応えられたことがその一因**ではないでしょうか。なお、「2016年7~9月期」からは、国を上回る状況がずっと続いています。



【まとめ】

ここまで、「生活関連の“復興需要”」について、「平成28年熊本地震」から約1年間の動きを見てきましたが、総じて、県と国の伸び率の差は縮小傾向にあり、**地震後1年経った「2017年4~6月期」には、「生活関連の“復興需要”」は少しずつ落ち着きを見せてきていた**と言えそうですが、みなさんはどう思われますでしょうか？
今も復興の途中ではありますが、地震からの復興が着実に一步一步進んでいると信じたいものです。

【補足】

今回お伝えしたかったのは、「統計書って、名前は“お堅い”けど、中味は意外と身近なデータが載ってて、おもしろいものなんですよ！」ということであり、少しでも**“統計”に興味を持っていただければ幸いです。**
最近では、統計データを扱うことを専門とする「データサイエンティスト」という職種もクローズアップされてきているようですので、興味のある方は、いろんなデータを**“料理”**し、いろんな分析を自分なりに楽しんでいただければと思います。



熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、2月中旬に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp